

平成 26 年度当初予算案の概要

予算の特徴

地域医療体制の確立 新病院整備の進捗
 ブランド元年 桑名を全国にアピール
 公共施設マネジメント 中長期を見据えた公共施設のあり方の策定

予算の規模

◆ 平成 26 年度の一般会計の当初予算規模は、前年度 6 月補正後予算対比で 6.7 億円、1.4% 増の 476.6 億円

※ 消費税率引上げへの措置として実施される「臨時福祉給付金 (2.9 億円)」及び「子育て世帯臨時特例給付金 (1.8 億円)」(いずれも全額国費)に関する予算額 (4.7 億円)を除く予算規模は、471.9 億円であり、対前年比 2.0 億円、0.4%の増となる。

予算規模の推移

(単位：千円)

年度	H17 当初	H18 当初	H19 当初	H20 当初	H21 当初	H22 当初
予算額	45,879,963	46,885,407	47,586,761	46,116,225	41,682,149	45,066,253
増減率	—	2.2%	1.5%	▲3.1%	▲9.6%	8.1%
年度	H23 当初	H24 当初	H25 当初	H25 当初+6 月	H26 当初	
予算額	45,059,881	44,596,947	44,139,430	46,985,069	47,656,205	
増減率	0.0%	▲1.0%	▲1.0%	※1 5.4%	※2 1.4%	

※1 H25 当初が骨格予算のため、H24 当初に対する増減率

※2 H25 当初が骨格予算のため、H25 当初+6 月 (肉付け補正後) との比較

(参考) 国の平成 26 年度一般会計予算 95.9 兆円 3.5%増 (一般歳出 56.5 兆円 4.6%増)

平成 26 年度地方財政計画 83.4 兆円 1.8%増 (地方一般歳出 67.7 兆円 2.0%増)

◆ 各会計の当初予算規模 (単位：千円)

区分	予算額	前年度比
一般会計	47,656,205	1.4%
特別会計	28,763,246	12.2%
企業会計	11,572,747	19.2%
総計	87,962,198	6.9%

市税の状況

- ◆ 市税収入は、前年度対比で 0.4 億円、0.2% 増の 208.1 億円
 - 市民税 96.4 億円 (H25 96.0 億円、0.4%)
 - 個人 (現年) 82.9 億円 (H25 81.8 億円、1.4%)
 - 法人 (現年) 12.8 億円 (H25 13.5 億円、▲4.9%)
 - 固定資産税 89.4 億円 (H25 89.7 億円、▲0.3%)
 - 土地 (現年) 32.9 億円 (H25 32.5 億円、1.0%)
 - 家屋 (現年) 36.1 億円 (H25 34.8 億円、3.8%)
 - 償却 (現年) 19.2 億円 (H25 21.0 億円、▲8.6%)

地方交付税の状況

- ◆ 地方交付税は、前年度対比で 2.0 億円、4.0% 減の 48.0 億円
 - 普通交付税 40.0 億円 (H25 42.0 億円、▲4.8%)
 - 特別交付税 8.0 億円 (H25 8.0 億円、0.0%)なお、臨時財政対策債 27.0 億円 (H25 25.0 億円) を加えると、
75.0 億円 (H25 75.0 億円、0.0%)

繰入金の状況

- ◆ 繰入金は、前年度対比で 0.4 億円、2.5% 増の 18.7 億円
 - 財政調整基金 15.3 億円 (H25 15.5 億円、▲1.3%)
 - 平成 25 年度末 財政調整基金残高見込み 31.5 億円
 - 平成 26 年度末 財政調整基金残高見込み 16.2 億円

繰越金の状況

- ◆ 繰越金は、前年度と同額の 10.0 億円

市債の状況

- ◆ 市債は、前年度対比で 2.2 億円、4.4% 増の 52.1 億円
 - 合併特例事業債 22.3 億円 (H25 20.4 億円、9.8%)
 - 臨時財政対策債 27.0 億円 (H25 25.0 億円、8.0%)なお、平成 26 年度元金償還額は、48.5 億円

発行額の推移

	H22 当初	H23 当初	H24 当初	H25 当初	H25 6月補正後	H26 当初
一般会計	53.4 億円	37.8 億円	39.2 億円	39.5 億円	49.9 億円	52.1 億円
うち臨財債	28.2 億円	25.0 億円	25.0 億円	25.0 億円	25.0 億円	27.0 億円

年度末市債残高の推移

	H22 決算	H23 決算	H24 決算	H25 決算見込	H26 当初
一般会計	513.0 億円	518.2 億円	516.8 億円	522.6 億円	526.3 億円
うち臨財債	154.5 億円	175.9 億円	196.1 億円	217.3 億円	232.5 億円
(参考) 全会計	991.0 億円	987.9 億円	973.4 億円	965.6 億円	971.1 億円

義務的経費の状況

◆ 義務的経費は、前年度対比で 6.0 億円、2.5% 増の 249.9 億円

人件費 100.2 億円 (H25 99.1 億円、1.2%)

扶助費 94.5 億円 (H25 91.3 億円、3.5%)

公債費 55.2 億円 (H25 53.5 億円、3.2%)

公債費の推移

	H22	H23	H24	H25	H26
一般会計	46.1 億円	49.1 億円	51.7 億円	53.5 億円	55.2 億円

投資的経費の状況

◆ 投資的経費は、前年度対比で 7.4 億円、18.8% 減の 32.1 億円

投資的経費の推移 (下の行は対前年度比)

H22 当初	H23 当初	H24 当初	H25 当初	H25 6月補正後	H26 当初
40.8 億円	22.4 億円	26.8 億円	17.3 億円	39.5 億円	32.1 億円
60.7%	▲45.2%	19.7%	▲35.4%	47.5%	▲18.8%

その他の経費の状況

◆ その他経費は、前年度対比で 8.1 億円、4.4% 増の 194.5 億円

物件費 76.9 億円 (H25 75.8 億円、1.4%)

維持補修費 4.5 億円 (H25 5.9 億円、▲24.7%)

補助費等 68.9 億円 (H25 63.6 億円、8.4%)

投資及び出資金 5.3 億円 (H25 3.0 億円、77.6%)

繰出金 34.6 億円 (H25 33.6 億円、3.0%)

その他 (積立金 2.0 億円、貸付金 2.1 億円、予備費 0.2 億円)

主な繰出金

国民健康保険	6.7 億円	(H25 6.6 億円、0.8%)
介護保険	13.7 億円	(H25 12.8 億円、7.1%)
後期高齢者医療	12.5 億円	(H25 11.8 億円、6.2%)

その他の財政指標

- ◆ 一般財源総額 332.4 億円 (H25 330.0 億円、0.7%)
- ◆ 一般財源比率 69.8% (H25 70.2%、▲0.4ポイント)
- ◆ 地方債依存度 10.9% (H25 10.6%、0.3ポイント)
- ◆ プライマリーバランス プラス 3.1 億円 (H25 プラス 3.6 億円)

平成 26 年度当初予算主な事業

1 全員参加型の市政の実施

- ◆ **総合計画策定事業費 【継続】 638万3千円** 《総務費》
7つのビジョンに沿って桑名市のまちづくりを総合的に進めるため、平成 27 年度を初年度とする総合計画の「基本構想」「基本計画」を策定する。

- ◆ **新桑名市誕生 10 周年記念式典事業費 【臨時】 329万6千円** 《総務費》
平成 16 年 12 月 6 日の新市誕生から 10 周年を迎えるため、記念式典を開催する。
平成 26 年 12 月 6 日（土）桑名市民会館で開催予定

- 人権施策基本方針・基本計画策定事業費 【臨時】 292万5千円** 《総務費》
平成 17 年 3 月策定の現行計画が平成 26 年度で最終年次となるため、社会環境の変化による新たな課題に対応する基本方針・基本計画を策定する。

2 納税者の視点で責任ある財政に

- ◆ **公共施設マネジメント推進事業費 【新規】 1,100万円** 《総務費》
現在保有する多くの公共施設について、今後、維持管理費の増加や多額の更新費用が必要となることを見込まれるため、統廃合や機能転換等、中長期的な視点で、施設ニーズの変化に対応した公共施設のあり方に関する計画を策定する。

- ◆ **行政改革大綱策定事業費 【臨時】 26万3千円** 《総務費》
施政方針に沿って策定を進める新しい総合計画の策定とあわせて、行政改革大綱の策定作業を進める。

- ◆ **定員適正化計画策定（人事管理経費）【臨時】 612万7千円** 《総務費》
更なる定員管理を進めるため、平成 27 年度からの新たな定員適正化計画を策定する。計画策定に当たり定員管理診断調査を業務委託により実施する。

- 健康増進施設費 一般管理費 【新規】 468万円** 《衛生費》
温泉を活用した健康増進施設について、民間資金等の活用による施設の整備促進に向け、施設の内容提案も含めた民活導入可能性調査を実施する。

3 命を守ることが最優先

- ◆ **新病院整備事業関係費 【継続】 26億7,984万8千円** 《衛生費》
新病院整備に向けた経費を、財源等に応じて2会計に計上
(1) 新病院施設整備費用 23億2,984万8千円
建設工事費、監理費
(2) 医療機器整備費用 3億円
(3) 電子カルテ導入費 5,000万円
一般会計
病院整備費 5億2,560万円 (合併特例事業債)
特別会計繰出金 〈重複〉12万2千円 (一般財源)
地方独立行政法人 桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計
事業統合費等貸付金 15億7,692万2千円 (病院事業債15億7,680万円)
(繰入金12万2千円)
事業統合費等交付金 5億7,732万6千円 (地域医療再生臨時特例交付金)

- ◆ **防災訓練経費 【臨時】200万円** 《消防費》
巨大地震の発生やそれに伴う津波災害、高潮被害などから市民の生命を守るため、また、伊勢湾台風55周年を迎えることから、緊急通報メールを活用した市総合防災訓練を実施する。

- ◆ **避難施設整備費〈東名阪自動車道法面の活用〉【継続】1,900万円** 《消防費》
長島地区における津波等の浸水対策として、東名阪自動車道の法面を改良し、一時避難場所とするための階段と待機場所(6ヶ所)を整備する。

- ◆ **成年後見制度利用支援事業費 【新規】755万5千円** 《民生費》
成年後見制度を利用しなければならない対象者の増加に対して、法人後見・市民後見人の育成に取り組む。

- 本庁舎耐震補強事業費 【継続】8億4,215万円** 《総務費》
災害時における来庁者等の安全確保、行政機能の保全、防災拠点としての機能確保のため、本年6月の完了を目途に市役所本庁舎耐震補強工事を進める。

- 臨時福祉給付金給付事業費 【臨時】2億8,799万2千円** 《民生費》
消費税率の引上げに際し、低所得者に対する臨時措置として給付対象者1人につき1万円(高齢基礎年金受給者等には1人につき5千円を加算)を支給する。

- 障害者福祉計画策定事業費 【臨時】588万4千円** 《民生費》
障害者施策に関する基本的な事項を定める「障害者計画」と、障害福祉サービス等

の量と提供体制を確保するための「障害福祉計画」を策定する。

車両購入費（長島木曾岬分署） 【臨時】 2,972万円 《消防費》

平成16年度登録の高規格救急自動車を更新する。

車両購入費（東員分署） 【臨時】 2,972万円 《消防費》

平成17年度登録の高規格救急自動車を更新する。

車庫整備費（分団施設整備費） 【臨時】 3,026万9千円 《消防費》

第9分団（在良地区）車庫兼詰所を旧西分署跡地に建て替える。

木造住宅耐震事業費 【継続】 1,952万4千円 《消防費》

耐震診断の結果、評点が0.7未満と診断された住宅を評点1.0以上に補強する工事に対して補助金を交付する。また、評点1.0未満と診断された住宅を評点1.0以上に補強する設計についても補助金を交付する

4 こどもを3人育てられるまち

◆ **子ども・子育て支援事業計画策定費 【継続】 512万8千円** 《教育費》

「桑名市子ども・子育て会議」を継続して開催するなど、子ども・子育て支援法に基づく「子ども・子育て支援事業計画」の策定作業を進める。

◆ **安全管理対策施設整備事業費 【継続】 2,449万5千円** 《教育費》

安全性、防災性、防犯性を備えた学校施設の整備を通じて、安全・安心な環境の確保を図る。

小学校 1,477万5千円

屋上フェンス取付工事（益世小学校、修徳小学校）

中学校 972万円

屋上フェンス取付工事（明正中学校）

◆ **就学前施設再編整備費 【新規】 936万円** 《教育費》

公立幼稚園について、平成27年度から順次再編される前に、再編後、園児や保護者が安心して幼稚園を利用できるよう、園児数の増加や広域の通園等に対応する幼稚園施設の改修や駐車場整備などを行う。

私立保育園園舎建設費補助金 【臨時】 1億6,531万3千円 《民生費》

社会福祉法人幼成福祉会による幼成保育園の園舎建替えに対し、県の「安心子ども基金 保育基盤整備事業」を活用し助成を行う。

子育て世帯臨時特例給付金給付事業費 【臨時】 1億8,153万1千円 《民生費》

消費税率の引上げに際し、子育て世帯に対する臨時措置として給付対象児童1人に

つき1万円を支給する。

5 世界に向けて開かれたまち

- ◆ **国際化推進事業費 【一部新規】 392万円** 《総務費》
現在、海外の都市との国際交流姉妹都市提携を結んでいないことから、提携に向け候補となる都市の選定に関する調査を実施する。 ※提携先選定調査90万円
- ◆ **小学校英語活動推進事業費 【一部新規】 753万4千円** 《教育費》
小学校英語コミュニケーション推進の研究指定校を設定し、音声指導面での先進事例やよりよいティームティーチング体制などの研究を進める。また、市内小学生が一堂に会し、英語で体験し、交流し、発信する場として英語キャンプを実施する。

6 地理的優位性を活かした元気なまち

- ◆ **道路ストック対策事業費 【新規】 6,854万8千円** 《土木費》
計画的な維持管理のため、老朽化により危険が生じている道路等の土木施設の総点検を実施するとともに、点検結果等を受け、老朽化した土木施設を補修し、利用者の安全を確保する。
- ◆ **橋梁長寿命化対策事業費 【新規】 1,931万4千円** 《土木費》
橋梁の長寿命化と維持管理費用の縮減のため、致命的な損傷が顕在化し、機能不全に陥る前に予防的な補修を実施し、利用者の安全を確保する。
- ◆ **桑名駅西土地地区画整理事業 【継続】 11億3,490万9千円** 《土木費》
桑名駅西土地地区画整理事業の推進を図るため、次の経費を計上
換地諸費等業務費 2,918万4千円
道路及び整地の詳細設計業務委託、電線共同溝詳細設計業務委託など
用地取得費 1億252万5千円
事業用地（1,295㎡）を桑名市土地開発公社から取得
土地地区画整備事業費 10億320万円
建物移転補償、道路整備他工事、事業推進化方策コーディネート業務委託など
- ◆ **桑名駅周辺施設整備事業費 【継続】 7,600万円** 《土木費》
桑名駅橋上駅舎化等の基本設計修正業務を行う。また、近鉄桑名駅においてバリアフリー化事業（エレベータ設置）を進める近畿日本鉄道株式会社に対し補助を行う。
- コミュニティバス運行事業費 【継続】 1億200万円** 《総務費》
コミュニティバスの運行により、ルート沿線住民の交通手段を確保する。
桑名地区5ルート、多度地区1ルート、長島地区1ルート

北勢線運営支援事業費 【継続】 1億1,130万7千円 《総務費》

北勢線を運営する三岐鉄道株式会社に対して運営費の支援を行うことで、沿線住民の交通手段を確保する。

養老線運営支援事業費 【継続】 4,888万7千円 《総務費》

養老線を運営する養老鉄道株式会社に対して運営費の支援を行うことで、沿線住民の交通手段を確保する。

都市マスタープラン策定事業費 【臨時】 500万円 《土木費》

都市づくりの方針である都市マスタープランについて、総合計画の改定を踏まえ、現行プランの検証を行い、総合計画との整合を図るため改定する。

緑の基本計画策定事業費 【臨時】 300万円 《土木費》

都市における緑地の保全及び緑化の推進等、緑に関する方針である緑の基本計画について、総合計画や都市マスタープランの改定を踏まえ、これらとの整合を図るため改定する。

江場安永線 【継続】 1億2,485万9千円 《土木費》

平成25年度に引き続き国道23号との交差点改良工事(国土交通省に委託)等を行い、事業の進捗を図る。

7 桑名をまちごと「ブランド」に

◆ **ブランド推進事業費 【新規】 1,568万7千円 《総務費》**

まちづくりにブランド化の視点を取り入れ、桑名市が持つ様々な魅力や価値を全国へ発信し、展開することで、桑名市内外からの認知と都市イメージ向上を図る。

◆ **多度大社・多度峡周辺修景事業費 【継続】 2,988万円 《商工費》**

訪れる人の満足度を高め、地域の活性化を図るため、多度峡、多度大社から多度駅までの旧街道を中心に、街路灯整備や散策路整備などを進める。

◆ **漁港整備事業費 【継続】 400万円 《農林水産業費》**

伊曾島漁港の物揚場改修工事に伴い実施する道路舗装の設計業務と、緊急用ボートなどの保管用に建設する防災備蓄倉庫の設計業務を委託する。

◆ **総合運動公園整備事業 【継続】 1億4,895万7千円 《土木費》**

本年度は、サッカーグラウンドの整備区域について、中央駐車場整備工事と人工芝張工事などを実施する。

基盤整備促進事業費 【継続】 2,222万円

《農林水産業費》

安定的な農業経営の持続のため、高生産性農業を可能とする農業生産基盤整備として、野代地区の用排水路整備工事を行う。

文化財保護普及費 【継続】 1,506万6千円

《教育費》

多度のイヌナシ自生地の保全活動や環境調査、かれがわ田んぼの生き物観察会など、文化財の保護・普及・活用を目的とした事業を実施する。また、平成27年度本市で開催の「全国山鉾屋台保存連合会総会」に向けた事前準備を行う。

文化財保存事業費 【継続】 2,294万1千円

《教育費》

国の文化財修理指針に沿って進められている諸戸家住宅庭園の改修・整備に対して補助を行う。また、石取祭車の修理事業などに対して補助を行う。

文化事業開催費 【臨時】 283万9千円

《教育費》

平成16年の新市誕生から10周年を迎え、桑名ブランドの更なるPRのため、財団法人自治総合センターからの助成を受け、記念シンポジウムを開催する。

施設整備費（六華苑費） 【継続】 1,647万9千円

《教育費》

窓枠や外壁面などの塗装のはがれ、軒まわりの雨漏りなど、経年劣化により必要となる箇所についてペンキの塗り替え、修理を行う。